

図書室だより

開成町民センター図書室のスタッフが、おすすめの本やイベントなどの最新情報を紹介します！ぜひ、お越しください。お待ちしております♪

イベント&お知らせ



夏休み行事 /

「子どもの広場」を開催！
～ゆらゆうらうごく簡単工作&おはなし会～

日時：9月2日(土) 10時～11時30分
場所：町民センター2階 中会議室A
内容：10時～おはなし会 10時30分～工作
自分の好きな生き物や乗り物を作りましょう♪
参加される方は、当日図書室までお越しください(予約不要)。
誰でも参加できます!!



毎月開催!! 「おはなし会」

8月のテーマは「夏」
日時：8月23日(水) 14時～14時30分
場所：キッズライブラリー



小さなお子さん大歓迎! ぜひお越しください。

開成町民センター図書室情報

電話▶☎20-4742
開室時間▶火～金曜日：9時30分～20時30分
土・日・祝日：9時30分～17時
休室日▶毎週月曜日
貸出冊数は一人6冊までです。貸出期限は2週間です。

図書室が毎月発行している「あじさいつうしん」
「新しく入った本のリスト」はこちらから！
ぜひ、ご覧ください。



おすすめ本

自宅で湿地帯ビオトープ！
～生物多様性を守る水辺づくり～



なかしま じゅん 著
おおむら すみと 大童 澄瞳 画
出版：大和書房

ビオトープはギリシア語で「bio(命)」「topos(場所)」を意味し、動物や植物が安定して生活できる空間のことを指します。湿地帯生物の観察と研究を専門とする中島氏と、自宅ビオトープの実践者である大童氏による、自宅で湿地帯ビオトープを作るための解説書です。ベランダしかなくてもOK。小さな水辺(湿地帯)をつくると、自然と動植物がやってきます。全国のビオトープ公園などの紹介、生き物図鑑も収録されています。

サポセンNEWS

町民センター2階「開成町民活動サポートセンター」(通称、サポセン)に利用登録をしている団体の活動を紹介します。

企画政策課 ☎84-0312

開成町つくしの会 会員募集中!

活動内容：ひとり親家庭の交流と親睦を目的とし、食品配布会や親子の集い(社会見学)、親子料理教室、手芸教室などを行っています。

活動場所：開成町福祉会館、その他(不定期に活動)

活動日時：食品配布会(偶数月の第3土曜日予定)
配布は17時～18時(開成町福祉会館)

参加費：1世帯につき 1,000円/年

活動PR：ひとり親でもひとりじゃない! みんなで繋がり孤独感を無くし、お役立ち情報の交換などをして楽しい子育てをしませんか?

事務局：開成町社会福祉協議会 ☎82-5222

サポセンからのお知らせ

サポセンで地域活動への参加のきっかけづくりをしてみませんか。ちょっとした打ち合わせやミーティング、事務作業や学習にも利用できます。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

サポセン利用登録はこちらから▶



開成町つくしの会▶
公式LINE

※LINE登録だけでは、入会にはなりません。入会ご希望の方は、LINEの入会申込フォームにご記入をお願いします。入会は、子どもを扶養中のひとり親家庭(母子・父子)に限ります。

開成町つくしの会へ▶
お問合せはこちら



熱中症にならないために

暑さ対策

- ・扇風機やエアコン、こまめな室温調節
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水の利用
- ・外出時に日傘や帽子を着用
- ・天気のよい日は日陰でこまめな休憩
- ・吸湿性、速乾性、通気性のよい衣服の着用
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす
- ・熱中症予防情報サイト等の暑さ指数(WBGT値)も参考に



基本的な日常生活

- ・バランスのよい食事
- ・適度な運動
- ・早寝早起き



こまめな水分・塩分補給

のどが渇いていなくても、こまめな水分・塩分補給を!



熱中症になってしまったら...

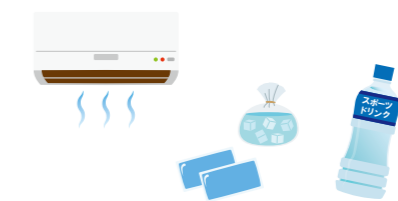
熱中症の症状

- ・めまい・立ちくらみ
- ・筋肉痛
- ・汗がとまらない など

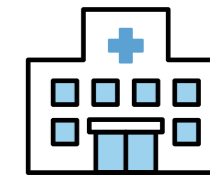
↓ 症状が進むと...

- ・頭痛
- ・吐き気
- ・体がだるい
- ・虚脱感 など

- ・涼しい場所へ移動する
- ・体を冷やす
- ・水分(スポーツドリンクなど)を補給する



症状が改善しない時は医療機関を受診しましょう



まだまだ暑いから気を付けようね!

元気だより

開成幼稚園 ☎82-4247



▲げんきいっぱい、よいいどん!



▲ドキドキの眼科健診

「保健室のドアから」
開成幼稚園 養護教諭 桑原 幸子
園庭に面している保健室のドアからは、楽しく元気に遊ぶ園児の様子を見ることができ、少しずつ友だちとの関わりもみられてきています。
にぎやかな園庭からは、今日の遊びの成果を見てほしいと両足にポックリをつけて器用に進む子、発見したきれいな草花や虫を見せてくれる子などがいます。
そして、先生に付き添われて「けがした」と保健室に来る子がいると、その傍らで「大丈夫?」と心配する子もいます。
保健室のドアからは、小さな体をたくさん動かして大きなハートが育っている「すてきさん」たちがたくさん見られます。
いろいろな感覚をフルに使って、心も体も育っている「すてきさん」たちを、保健室からもサポートしていきたいです。

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。